

深夜のドライブで居眠り運転、正面衝突で大破した乗用車＝南勢の道道幕別大樹線で

あいつぐ交通事故死

無謀運転で また2人

全町民が協力しあって交通安全に取り組んでいますが、6月18日未明に乗用車同士が正面衝突し、2人が死亡しました。

これで今年になってから町内での過労運転や無謀運転、不注意による交通事故死は4人となり異常な事態となっています。事故件数、死傷者数はともに昨年を大きく上回っており、帯広署管内では今年死者は12人となり全道一位という不名誉な成績となっています。

これから夏休みを迎え、家族ぐるみのレジャーに車で出かける機会も多くなりますが、疲れをおしての無理な運転や無謀な運転はやめましょう。

まくべつ

— No.294 —

広 報

7

1976

発行 幕 別 町
編集 町民課 広報広聴係
印刷 大同出版紙業株式会社

佐田町をめぐって

町別
幕別
総合計画

前期5年間をみる

豊かな自然のなかで生活を優先し、生産を高めるのぞましい地域社会の建設をめざして昭和四十六年度を初年度とする十ヶ年の「幕別町総合計画」が昭和四十六年三月に制定されました。そして、この総合計画にそって五年間の町政がすすめられてきました。今年から後期五ヶ年計画に入りますが、前期五ヶ年（四十六年から五十年）に実際にどれだけの計画が達成されたか主なものをご紹介します。これをもとにして後期五ヶ年間にどう町づくりをすすめたらよいか、あなたも考えてみませんか。

この計画がつくられた頃は高度経済成長期で社会情勢の変化が町民生活に大きな影響をおよぼしていました。

業面では生産性や所得のアンバランスがあり、農業地帯の人口流出市街地帯の無秩序な広がりとあって現われ、地域社会を形づくる上で大きな障害となっていました。

進む中で、昭和三十七年ごろから急激に増加していました。このため計画は造成予定面積を三十四・一公頃としていましたが、五年間で札内南あかしや、春日東、緑町東など四十四・九公頃（四百五十九区画）が造成、分譲されました。

明倫簡易水道の新設（百四十戸に給水）と、日新簡易水道の配水池と配管の整備が計画どおり実現されました。さらに、五位簡易水道が新設されました。



公営住宅建設も総合計画の重点

● 公営住宅の建設

前期五ヶ年の建築予定戸数は町営、道営あわせて二百九十六戸でしたが実際には予定を大きく上回って三百十六戸が建てられ、入居

● 住宅団地の造成

住宅、宅地の需要は、隣接する帯広への通勤者と、国道三十八号線をはじめとする道路網の整備が



昨年分譲された南あかしや団地

● 上下道の整備

本町の水道は昭和二十八年に給水を開始して以来、簡易水道や民営なども含めると、その普及率は七〇程に達しています。しかし、地下水の変動による水不足、汚染などで各地区から「きれいで豊かな水」と要望されていました。幕別地区には、昨年八月より新浄水場から給水しています。本年

● 運動公園の整備

造成面積は八・二公頃。野球場と陸上競技場、園路、排水施設が出きあがり、町民の体育施設として利用されています。テニスコートや広場、樹木植栽などすべての工事が完了するのは昭和五十三年の予定です。

● 福祉センター建設

札内につくられたこの施設は、結婚式や地域の集会、サークル、講演会などに幅広く利用されてい



きれいで豊かな水を毎日

度からは札内市街地区を中心に配水管を布設し、各家庭への給水工事が始まっています。

ます。各地域にある近隣センターとともに住民活動の中心として今後、大いに利用してください。



札内地区の人々が活発に利用

● 保育所の建設

幕別分は新設、改築それぞれ一ヶ所、札内分は新設一ヶ所が計画されました。これらは予定どおり実現され町内の常設保育所の保育児の定員は四百二十人となっています。



定員九十人のみどり保育所

● 農業構造改善事業

農業をとりまく情勢はきびしいものがありますが、経営規模の拡大、機械化、酪農振興など近代化された農業経営をめざしています。酪農については、乳牛保育施設（町営牧場内）で乳牛の資質向上が計られています。



乳牛の資質向上をめざして

● 町有林造成事業

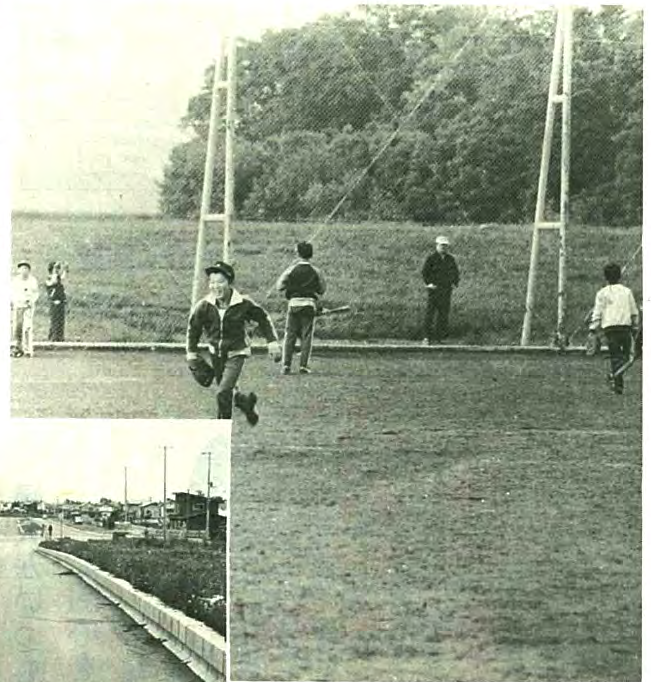
森林資源をふやすために五年間で百七十一畝が造成され、造林用地四十五畝を取得しました。



限りある資源を大切に＝古舞の町有林

● 道路網の整備

前期五年間に七六・五線を改良し、十七・二線を舗装する計画がされました。ほぼ計画を達成し、年間十線改良五線舗装の目標は実現されました。



▲野球場は少年たちにも人気＝運動公園

◀幅員36mの平和通りは今年完成

● 札内中学校の新築

札内地区の宅地化の急増とともに児童数が急激に増え、学校の規模、施設が対応しきれなくなってきました。

そこで、学校教育の充実のために統合中学校として札内中学校が新築されました。

現在、教育設備は年次計画で整備されています。昨年九月に屋内体育館も完成し、近代的な校舎に三百九十五名の生徒が通学しています。



近代的な設備が整った札内中学校

● 近隣センター建設

当初は三ヶ所に建設を予定していましたが、地域住民活動の推進のために特に重点を置き、宝町、旭町、札内北、札内新北、あかしや西、札内春日、明倫、明野、千住の九ヶ所に建てられました。いずれも現在、地域の活動の中心として活発に利用されています。



地域の住民活動の中心＝近隣センター

● 車輛センターの建設

町の車輛を集中管理し、効率のよい運行をはかる目的で明野に建てられたものです。



「ゴミをきれいに早く集めるために」

年々ふえ続ける一方のゴミに、収集能力は限界にきています。そこで町ではゴミを早く、しかも衛生的に集めて処理する方法としてビニール袋による収集を考え、清掃区域内の公区長、衛生会役員の方にゴミ収集の実情を見たうえで検討してもらいました。その結果、ビニール袋使用はゴミ対策に効果的であり賛成であるとの結論ができました。

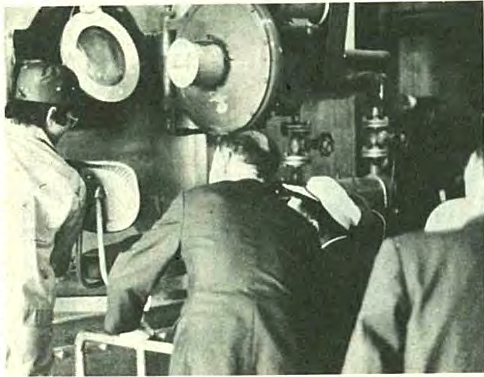
六月七日、清掃区域内（収集車がゴミを集める地域）の公区長、衛生担当者の方にゴミ収集の実態を見ていただきました。

日常生活を快適に過ごすためにも生活環境の美化は欠かせない条件です。広報でも数回にわたってゴミをとりまくさまざまな問題をとりにあげてきましたが、やはり実状を実際に見て、どうしたらゴミを衛生的にそして効果的に処理できるかを話しあっていたいただきました。

この日は旭町と札内市街が収集日となっていたため、実際にゴミ集積所を見て歩きました。視察に参加した人は、ゴミの多さと出しかたの乱雑さに一様に驚いていました。

このあと、帯広市にある清掃工場（燃えるゴミの処理をしています）を見学しましたが、燃えないゴミの混入が予想以上に多いこと

は各公区でゴミ処理に努力している公区長、衛生担当者にとっては大きなショックでした。この工場ではゴミを燃やした後には灰しか残らないはずなのですが、実際には空缶などの燃えないものが焼却後の灰の中にうず高く残っています。



焼却工場には空缶などの不燃物が驚くほど運びこまれています。

す。

また、工場を案内していただいた人の話では、昨年、運びこまれたゴミの中にスプレー缶が入っており、焼却中に爆発し火がふき出して作業にあたっていた人がやけどをしたそうです。

町民の協力が問題解決のカギ

このように、何気なく出しているゴミも、ちよつとした不注意でさまざまな問題となって現われて



ゴミ問題—
私はこう思う

日常生活の中で、私たちはいろいろなことを感じ、考えます。

しかし、それが広く町政や地域社会に反映することはそれほどありません。一人のつぶやきで終わってしまうのは残念だと思いませんか。そんな声やつぶやきをこのコーナーにお寄せください。題材は自由、匿名でもけっこうです。あて先は、役場町民課広報係です。

きています。

また、音更町は幕別町よりも収集人口が一万八千人、ゴミ排出量は千八百トも多いのに帯広の清掃工場へ運びこまれる量は六百五十トも少なくなっています。

この原因は何なのかを知らうというところで、音更町木野市街を視察したところ、集積所に出されているゴミが幕別町に比べると極端に少ないことを知りました。これは家庭で処理できるものは処理し、商店では自分たちで処理するなどゴミ対策が定着しているためだ

婦人がいつも

関心を



札内桂町

池田 田鶴子
去る六月七日

町民課生活係の案内でゴミ処理施設の状況を見

学しました。

豊岡のゴミ投棄場は、深い山間でここは燃えないゴミの捨て場だそうです。

街から家から、毎日のように運びこまれる雑多な廃棄物がうず高く山をなし、谷を埋め、悪臭ぶんぶん。こんな中で処理作業にあた

とわかりました。

最後に豊岡のゴミ捨場を視察しましたが、ここでもゴミの膨大さと悪臭のひどさなどに参加者のみなさんの関心が集まりました。このように、私たちの消費生活の裏側に現われる環境問題の解決のカギは住民の協力にしかありません。



消費の裏には膨大なゴミが＝豊岡

っている人たちの苦勞をしみじみ感じました。

特に感じたことを二、三点あげてみます。

一、ゴミはもともと各家庭からはき出されるものが大半ですから各家庭でゴミの仕分けに配慮して、それぞれが工夫して最大限の処理をすることが大事ではないか。

二、燃えるゴミと燃えないゴミの選別を吟味し、燃えるものは手近なところで焼却処理する。

三、処理状況の見学、視察には婦人がより多く参加することが何かと参考になり、有効ではないだろうか。

ビニール袋で収集のスピードアップ

ビニール袋のゴミ収集袋を使うことは、水気を含んだゴミを衛生的に集めること（段ボールなどに入ると持ち上げたときに底がぬけて集積所が汚れる）と、容器を統一して収集のスピードアップをねらいとしており、この点では清掃区域内の全公区に賛成していただきました。

商店でも販売

最後に残された問題として、この袋の販売方法がありました。

戸数の多い公区では配布するのに時間がかかり大きな負担となるので、商店に協力してもらい店頭販売をしてもらうてはとの意見がありました。商工会と協議した結果、次の各商店で取りあつかってもらうことになりました。

また、段ボールもみかん箱程度の大きさであれば、ひもを十字にかけて出せばかまいません（ただし水気のあるものは入れないでください）。大きなゴミは折りたたんでひもでしばってください。



こんなゴミの出し方では収集ははかどりません

つまり、集積所にあるものはすべてゴミとして回収し、収集作業

必要なのは住民の協力

宝町 長尾 玉市
このほど、役場の衛生会、公区の方とともにゴミ処理状況を見学する機会があり、帯広市処理場、豊岡処理場などを見ました。



ビニール袋使用に賛成



札内中央町 矢野 治郎
六月七日に清掃地区の公区長と衛生支部長が帯広広域塵介処理焼却工場を見学し、この工場へのゴミ搬入量が少ない音更町の現状を見てきました。

それは幕別町のゴミ搬入量が多く、年間関係町費が四千万円も使われているので、その原因が何で

一人一人が協力の気持ち



帯内市街 角 常久
幕別町衛生会役員の視察があり、ゴミ収集状況、清掃工場を

特に幕別町よりも収集人口が多いのに実際の処理量の少ない音更町の状況などを視察して、現在三台の収集車でゴミを集めている従事者の苦勞を感じ、私たち消費者の理解ある協力がいかに大切であるかを痛感しました。

今回、町が考えているゴミ処理の効率化、円滑化のためのビニール袋使用については、視察の後に行なわれた座談会でも、最善の方法であるので各家庭が協力すると

確認されました。そして、ザザ！

確認されました。そして、ザザ！

確認されました。そして、ザザ！

あるかを知りたかったからです。昨年実績は、音更町は二万三千人で三千六百トンと少なく、幕別町は一万三千人で二千四百トンも出ています。音更町には各所に焼却炉が見うけられ、燃えやすいゴミを各家庭で焼いています。焼却炉も、検査合格品を各商店でドラム缶式のもの販売してました。

燃えるゴミは帯広市、音更町、芽室町などは皆なビニール袋に入れて出しているのが実状です。本町でも七月からビニール袋を使用することになったのは当然であり、私は良いことだと思います。

次に工場見学で燃やせないゴミと燃えるゴミの選別の不良には驚きました。灰の中からコーラやビール缶、せものなど燃えないゴミの混入の多いことには視察者全員が驚きました。

ゴミはご婦人方が家庭内の責任者です。出す時にはもう一度選別を確かめて集積所へ持って行くようにしましょう。

なお、札内中央町第一、第二、第三の各公区では話し合いの上で公区が一戸月五枚を一括購入して各家庭に無料で配付することにしました。

そこで見たことは、燃えるゴミと燃えないゴミとの区別がされていない、さらに包装が不完全で犬や猫に荒らされていたことです。（収集日の前日に出す人もいますではないかと思えます）

また、清掃工場（ここでは燃えるゴミの処理をしています）で案内の人の話を聞きましたが、運びこまれるゴミの中にスプレー缶が

混入していて、焼却炉の中で爆発し火がふき出して工場働いてる人がやけどをしたそうです。

何気なく出したゴミが処理の段階で思わぬ事故に結びつくことを知り、驚きました。

ゴミ収集処理の円滑化をよめるには、町民一人一人が常に協力の気持ちを持ち、心がけることではないかと思えます。

子ども会を育てよう

町内の子ども会を育成、活動を活発にと、六月二十三日に「子ども会育成連絡協議会」が設立されました。これは文化的活動、体育的活動、レクリエーションなどの団体活動の中で子どもたちの健全育成、非行防止を全町的にとりくむための組織です。

子ども会は、地域社会の子どもたちを楽しみ遊びや行事を通して仲間を育て子どもたちの生活を豊かにするとともに、いろいろな社会規律を身につけるための自主的な活動です。

の中で孤立していくことが非行につながるっている今、子ども会です。

低年齢化する非行

青少年の非行は私たちみんなの問題です。法務省が発行している犯罪白書（昭和五十年版）では、

最近の青少年非行について次のように述べています。

①ごく普通の家庭の少年による非行が増加し、非行が一般化する傾向にある。②中学、高校生による非行が増加するなど低年齢化傾向

間、友情を育てていくことが必要です。地域のおともいっしょになって子ども会の育成に協力しましょう。

非行の増加は私たちの町も例外ではありません。

向が進んでいる。③万引や自転車などの窃盗、シンナーなど有機剤の吸引、性の逸脱行動などいわゆる遊び型、逃避型の非行が増加している。

「社会を明るくする運動」は今年で二十六回目を迎えます。今年の重点目標は「青少年の非行防止活動の推進」です。家庭や職場あるいは地域で、青少年にあたたかい思いやりの心で接し理解するようにならねばなりません。

役場裏を公園に

ライオンズ・クラブが五ヶ年で

幕別ライオンズクラブ（森野末吉会長）では、役場裏で公園づくりをすすめています。

幕別ライオンズクラブが発足したのは昭和四十五年四月十二日。発足以来、各種の奉仕活動をおこなっています。町民全員を対象とし、しかも昭和五十五年の設立十周年を記念する事業ということ種々検討をすすめた結果、役場裏の公園造成を計画しました。

役場の裏は、かつて池あり草木ありの立派な公園でしたが、大雨による若菜川のはん乱以後は荒れにまかせ昔の面影は残っていません。

幕別ライオンズクラブでは、我々の手で再度公園化し、町民の憩いの場にしようとして計画、実施することになったものです。

計画によると、ことしを初年度とし設立十周年の昭和五十五年ま

での五ヶ年間で完成しようとして公園特別委員会を発足させました。

特別委員は森野末吉、沢井重一、平井幸男、藤原寿美の皆さんで、この特別委員は昭和五十五年の完成までその任にとどまるといって他に例のない長期間の就任。

また特別委員とクラブとの連絡にあたる歴代の幹事も特別委員になっており、ことしの幹事は稲毛空征さん。

五年計画の初年度であることは、看板の建立、橋の架設、公園の整地、電灯の敷設、桜の植樹が主なもので、すでに看板の建立、橋の架設は終り、一部の整地も町

町内探

蝦夷文化考古館

この考古館は昭和三十四年に故吉田菊太郎さんが、アイヌ文化保存の目的で建設したものです。

その後、昭和四十一年に町に寄付され、現在は幕別町蝦夷文化考古館として町教育委員会が管理運営されています。

内部には刀・矢筒・着物・酒桶などが展示され、古代アイヌ人が長い年月をかけて築いてきた文化を伝える貴重なものばかりです。これらは学問的にも、アイヌ民族の風俗、文化を研究するには欠かせない存在となっています。

あなたも一度、考古館へ出かけてみませんか。何千年もかけて築きあげられた文化を知り歴史にふれてみるのもよいことと共同で実施しております。

二年目の昭和五十二年は池つくり、各種の石を入れた庭、花壇の造成を計画、また桜やもみじも移植しますが、完成までに桜は百五十本移植することになりますので完成後は桜の名所となり、町民の皆さんの花見会場になることでしょう。

だと思えます。

来館すると、吉田いさのさん（故吉田菊太郎氏の奥さん・七十五歳）が展示されている品物の説明や、アイヌの歴史を親切に話してくれます。

場所は、国道二十八号線沿いで千住橋のすぐそばです。

考古館には、来館者のための資料として『アイヌ文化史』（吉田菊太郎著・一部百五十円）があります。入場は無料です。



展示されている貴重な資料の数々

また、この公園から町で整備をすすめている運動公園まで散策道路を設ける計画もあります。猿別川沿いに設ける散策道路の建設が最大の問題。

特別委員の中には、その道の専門家もいますので、現在、その建設方法について、いろいろと検討をすすめております。

運動公園に『青年の森』

青年団体
連絡協議会 結成二十周年記念で

五月二十三日、運動公園で幕別町青年団体連絡協議会（堀田伸宏会長）では、発足二十周年記念のひとつとして、町を緑でいっぱいにと植樹をしました。

現在、町が造成を進めている運動公園に会員六十人が参加してナカマドやトドマツなど五百本を植えました。また、会員が持ちよったサクラやモミジ、シラカバも植えられ、この一帯を「青年の森」と名づけ手作りの大きな看板（写真）を掲げました。

これまでの活動を話しあい、さらにこれからの活動をどうするかなど午前中の作業の疲れもみせずに明るい声が響いていました。

この日の植樹は天候にも恵まれ作業のようは、現在、撮影が続けられている記録映画（今年十二月に完成予定）に収められ、「青年の森」と同じく青年の活動が長く残ることになりました。また、結成二十周年記念としてこの後十二月には記念式典を盛大に開催し、記念誌の発行も予定されています。



一本一本大切に植える会員たち



少年野球チームも毎日練習

スポーツシーズン たけなわ

野球、サッカー、卓球、バレーボール、ソフトボールなど町内では毎日いろいろなスポーツが行なわれています。いろいろなスポ

ーツサークルが町内にはあり、活動しています。

季節もスポーツに絶好の今、体力づくりと健康のため、またスポーツを通じて親子の対話のためにあなたも参加しませんか。年齢や自分の体力に応じて、この夏から家族ぐるみで体力づくりを始めましょう。

すい、動脈硬化が起りやすいなどいろいろな障害が起こり身体の故障がつづいて、ついには動けなくなってしまう。

自動車がガソリンを燃料として走りますが、私たちの体は糖分を燃料として利用し、そのエネルギーで活動しています。

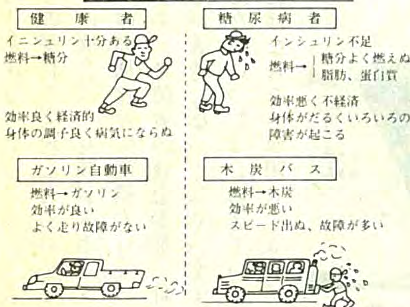
体の抵抗力が弱まる

四十歳以上の成人では百人中四〜五人の割合で糖尿病の人が発見され、しかも年を追って増加しています。

糖尿病は、そのままにしていると心臓病や腎臓病などいろいろな余病が起きてくるので軽い症状の人でもおそろかにはできません。そこで今月から数回にわたって糖尿病についてお話しすることにします。

からだ出される「インシュリン」というホルモンの助けを借りなければなりません。ところが、糖尿病ではインシュリンが不足するために糖分がうまく利用できないので、ふだんあまり使用し

糖尿病とはどんな状態か



「ひよっこ」の面々

広場

演劇サークル

『ひよっこ』

昨年九月にくられた演劇サークル『ひよっこ』（リーダー 山端隆治さん）は会員九名。演劇が好きでたまらないという若者が毎月第二、第四火曜日に町民会館に集まっています。

今、十一月に催される青年のついでの上演に向けて発声練習や台本選定をしています。昨年は「貧乏神物語」を上演し、集まった人たちから盛んな拍手を送られました。

悩みは会員が少ないこと、九人で衣装、小道具、照明などすべてをこなさなければならぬので、上演回数が少なくなってしまうのです。また、女性会員が少ないために、上演する題材が限られてしまうのも大きな悩み。

演劇の好きな人、興味を持ってみる人は練習日に町民会館へ行ってみませんか。

消費者コーナー

「譲ります」

◎ うば車（ワンタッチ式ではなく普通の）色は赤で花柄

岡山賀宣（札内桂町）

☎（札内）三六八八

「譲ってください」

◎ 自転車（婦人用）

保格君子（緑町）

☎四一二一七三

この欄にのっている品物を希望の方、譲りたい方は直接本人と話しあってください。私たちの生活を見直してみると、まだまだ使えるものはたくさんあります。このコーナーに掲載希望の方は、品物名・希望価格・住所氏名・電話番号を役場町民課に連絡してください。

楽しい花火遊びをするために

夏は花火のシーズンです。この季節になると花火の不始末による出火も多くあります。

花火はこどもにとっても楽しい遊びですが、その取扱いかたをまちがえたり、注意を怠ると火事やけがなど大きな事故になります。

うときの正しい知識を教え、安全で楽しく花火遊びをするようにみんなので注意しましょう。

「遊ぶときの注意」

▼花火の箱や筒に書かれた注意事項をよく読んで

- おとなもいっしょに
安全な場所を選んで
風の方向に注意（風が強いときはやめましょう）
- 橋本さとみ（行男・長女）新町
福島 学（輝男・長男）寿町
入谷美奈子（稔・長女）若草町
工藤 桂子（真志・長女）泉町
会田 雄一（鞭智・長男）青葉町
棚 向美（義美・長女）北栄町
加藤 哉子（豊・長女）新町
三井 大輔（茂美・長男）五位
依田おり恵（操・長女）旭町
樋口 和香（健一・長女）あかしや町
筒淵 悟至（博・長男）あかしや町
柴田 道代（正夫・二女）春日町

お誕生おめでとう

敬称略

- 山岡 正弥（洋一・長男）西町
稲川美恵子（和明・二女）途別
山田 匡昭（均・長男）本町
藤田 直美（敬・長女）泉町
西山 彩乃（俊郎・長女）泉町
石森 志歩（淑浩・長女）春日町
橋本 道子（伸也・長女）旭町
鈴木 由香（政広・長女）あかしや町
雪田 久史（俊幸・二男）南町
八代 良彦（秀雄・二男）緑町
山本 幸司（智一・二男）共栄町

結婚おめでとう

敬称略

- 三好久美（あけみ）清都）泉町

▼打上げ花火は手に持たないで面にまっすぐ立てて
▼花火から火薬を取り出したり、他の火薬をまぜあわせたりしないで
▼ポケットに花火を入れないで（とくに、おもちゃのピストルに使う平玉や巻玉は、ちよつとこすったり、たたいたりするだけで爆発します。転んだはずみで爆発した例もあります。）
▼バケツに水を用意して使い終わった花火は完全に消しましょう。

身障者 分会旗が完成

北海道身体障害者福祉協会幕別分会で、分会旗をつくりました。これは昨年の総会で分会の旗をつ



社会参加の願いをこめた旗

くろうと決定され、このほど会員などの寄付で実現したものです。この協会は、身障者スポーツ大会への参加などの活動を行なっています。身障者の社会参加、社会復帰が活発になってきていますがみんながいっしょに考えていかなければならない問題でしょう。

NHK市町村だより 幕別
は七月十三日（火）、午後六時五十八分に放送されます。

- 村尾要一（なみ子）坂本）共栄町
伊藤 勇哲（優子）宮田）あかしや町
森岡信芳（はるみ）稲垣）豊岡
西村 徹雄（愛子）辻）旭町
刈谷 敏美（麗子）角田）泉町
二ノ宮 弘（律子）片山）新町
中鉢 保則（洋子）島田）桂町
鎌田 勉（壽子）大野）共栄町
森原 治（さなえ）杉本）日新
西谷浩一（恵美子）橋本）春日町
梅津賢二（久美子）前原）あかしや町

篤志寄付ありがとうございました

- 二万円 土谷政夫さん（札内豊町）から、父が生前お世話になりましたと札内寿会へ。
淀川ツツジ十一本 大道コトさん（相川）から、温泉の前庭に。
砂利五百立方尺 梅本砂利工業有限公司社より。
一万円 小田つる子さん（札内中央町）から札内寿会へ。
カラーテレビ一台 吉田時計店より公民館用にと。
五百円 匿名の方から、恵まれたい方々に何かのお役に立ててくださいと町社協へ。
梅の木七本 谷地田豊四郎さん（軍岡）から温泉の前庭へ。

訂正とおわび

六月号八ページの「お誕生おめでとう」の記事で、『久保沼一美（貢・長男）駒島』となっていました。貢さんではなく富一さんの誤りでしたので訂正しおわびします。